

第58月回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2023年 4月27日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館 二
- 2 参加人数 ・男性8名・女性2名 計10名
- 3 今回の季語 四月(卯月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真を見て一句! を試行してみる。



- ・群は発ち水面にポツリ親子鴨
- *ネモフィラの視野をはみ出す春の
- ・春雨や手傘で濡れる君の髪
- ・霏りて姿ぼやけし交野山
- ・曲がり角旗が見守る一年生
- ・けい流を止める花背の花いかだ
- ・川べりをそぞろ歩きて春惜しむ
- ・入学しちゃんからさんへ中学子
- *万博とネモフィラ競う河内湾
- *ネモフィラや海空を染め映える丘
- *廃校の花壇の隅にネモフィラや
- ・菩提寺の風にざわざわ竹の秋
- ・滑走路孫発ち夢は春空に
- ・散りてなお川面敷き詰め花筏
- ・春朝日浴びて二拍し良き日な
- ・独りゐの戸締り早め春灯
- ・魅惑の夕花粉光環目に涙
- ・大声で遊ぶ夢中な春休み
- ・両川に抱かれ背割りの桜散る
- ・役目終え散りゆく桜自慢顔
- ・大目終え散りゆく桜自慢顔
- ・別れの春一路平安発背広
- ・早や散りし未だ雷の花便り
- ・花冷えや入所の友を送る朝
- ・長椅子をひとり占めして飛花落花
- ・老いて知る色あざやかな春の野辺
- *花と空舞洲ブルー春の海

*写真で一句!
兼題: 舞洲の社



- 5 講評・添削 披講: 東さん
- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ
 - ・群は発ち水面にポツリ親子鴨
 - 群に取り残された感じが表現されている。
 - ・故郷へ行く道すがら山笑う
 - 春の季語で春の芽吹きはじめた華やかな山の形容。
 - ・菩提寺の風にざわざわ竹の秋
 - 春の季語で竹は春に黄変する。
 - ・霏りて姿ぼやけし交野山
 - <ツチフリテ>≒“黄砂”と同じで春の季語
 - ・ひらひらと桜最後の見栄を張る
 - *“見栄を斬る”の方がよいのでは…?!

- 2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!
 - ・春霞思えば覆う黄砂群
 - ① 共に春の季語 ②
 - ・群は発ち水面にポツリ親子鴨
 - **“鴨”は冬の季語

- 3) 字余り・字足らず
 - ・春風に 舞い落ちる花 絨毯 ⇒ 絨毯や
 - 5 7 4文字<ジュウタン> ⇔字足らず!

選外句

- ・入学式白き靴底椅子の下
- ・腰すべり足腰激痛春不動
- ・春霞思えば覆う黄砂群
- ・「七つの子」合わせ帰校にカラス鳴く
- ・春風に舞い落ちる花絨毯や
- ・森の苔切株座り桜餅
- ・長堤桜吹雪の限りなし
- ・故郷へ行く道すがら山笑う
- * 思わせる我が家絨毯ネモフィラや
- * 青競う瑠璃唐草や空に海
- * 満開のネモフィラ眺め宇治のお茶
- * ネモフィラ空と海と会うあたり
- * 空の青ネモフィラの青あざやかに

- 6 次回(#58)開催日 2023年 5月25日 13:00～(15:00) 第4木曜日
- 兼題: 五月(皐月)の季語全般 注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!
- 写真: 花菖蒲/菖蒲園/(燕子花) 注2) “五七五”の17音(文字)を満足すること!
- 歳時記を参考に!